

株主のみなさまへ  
..... Vol.38

株主通信  
第107期

2013年1月1日～  
2013年12月31日



SHIMANO

表紙: 2013年7月 第100回ツール・ド・フランス第7ステージの様子

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

## 事業の経過および成果

当連結会計年度におきましては、欧州では南欧諸国の経常赤字が大幅に縮小に向かう中、金融市場の安定化を背景にユーロ圏の景気後退にもようやく歯止めがかかる年となりました。また、米国においては景況感の改善からQE3（量的緩和策第3弾）における資産の買い入れ規模の縮小が決定したことなどにより、政治問題と金融政策の不透明感が大きく後退しました。

国内においては、いわゆるアベノミクスが着実に成果をあげ、実質GDP成長率も4四半期連続でプラスとなり、特に公共投資や個人消費が牽引したことにより景気が拡大しました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてみたいです。

この結果、当連結会計年度の売上高は271,037百万円（前年同期比10.2%増）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は41,775百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益は47,549百万円（前年同期比20.3%増）、当期純利益は35,088百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

## 自転車部品

主力市場である欧州市場では上半期は天候不順に阻まれ、7月8月の好天も前半の遅れを取り戻すまでには至りませんでした。北米市場も年初は天候に恵まれない地域が多く、5月以降に回復基調に転じたものの市場の回復は力強さに欠けました。また日本では厳しかった冬の影響を受け、小売店販売の動きは低調のまま推移しました。一方、成長余力のある新興国市場の中でも、とりわけ中国では今年も引き続きスポーツタイプ自転車の販売は力強い成長を見せました。

欧米の完成自転車の市場在庫は高めなものの適正な範囲内に収束しました。一方で補修用の需要につきましては、世界的なサイクリング活動に対する高い興味を反映し、天候に恵まれなかった地域も含め各地で順調に伸びました。

このような市況のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、マウンテンバイクコンポーネントの「DEORE」、「ALTUS」、ロードバイクコンポーネントの「ULTEGRA」、「CLARIS」をはじめとする新製品の販売は順調に推移しました。加えて当社製品に対する欧米市場からの高いご支持と円安に恵まれたこともあり、売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は217,263百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は39,505百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

## 釣具

国内市場では、年初からの寒波・降雪に始まり、また夏から秋にかけて北日本においては長雨に見舞われたものの、秋後半からはファミリー層など一般層の市場全体が動きだし回復の兆しが出てまいりました。このような市況のもと、当社製品においては、NEWステラSWをはじめとするソルト系スピニングリール、電動リールなどのご注文を多くいただいたことや、一年を通じてルアーフィッシング関係製品の販売が堅調に推移しました。

一方、海外市場では欧州・北米ともに天候不順の影響を受けましたが、新製品が市場から高い評価をいただいたことにより前年の売上を上回ることができました。アジアにおいては中国経済の減速が懸念されましたが、東アジア市場・東南アジア市場での小売店への販売は好調でした。豪州においても天候不順の影響が懸念されましたが小売店への販売は順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は53,398百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は2,404百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

## その他

当セグメントの売上高は376百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失は135百万円（前年同期は営業損失326百万円）となりました。

## 期末配当のご報告

当社グループは、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の期末配当金につつま

ては、前年同期から6円増配の1株当たり43円50銭（うち特別配当37円25銭）の配当とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、前期から12円増額の1株当たり87円となりました。

## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、欧州経済は安定化の兆しが出てきてはいるものの、内需の低迷や財政の持続可能性が依然として課題となっています。米国では雇用回復などを背景に個人消費の堅調な拡大が見込まれる一方、量的緩和縮小に伴う金利上昇が景気抑制に作用する可能性があります。中国をはじめとする新興国は全体として伸び悩みの傾向にあり、足踏み状態が続くものと予想されます。

また、国内におきましては、4月の消費税増税による消費腰折れが懸念されるものの、円安による輸出の拡大を背景に、一部に見え始めた企業収益の回復や賃上げ効果が景気を下支えするとの見方もあります。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

以上により、平成26年12月期の売上高は280,000百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は45,000百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益は45,000百万円（前年同期比5.4%減）、また当期純利益は31,500百万円（前年同期比10.2%減）を予想しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成26年3月

オーストラリアには、住民の大半が沿岸地域に住んでいることなどから、釣りを趣味とする人がたくさんいます。

また、健康志向などの背景から、自転車利用者が増加傾向にあります。今回はオーストラリアにおけるシマノの事業展開についてご紹介します。



**SHIMANO AUSTRALIA FISHING PTY. LTD.(SAF)**

設立 : 1986年  
 所在地 : ニューサウスウェールズ州  
 設立目的 : 販売網の強化と拡大  
 役割 : 釣具販売

**SHIMANO AUSTRALIA CYCLING PTY. LTD.(SAUS)**

設立 : 1992年  
 所在地 : ニューサウスウェールズ州  
 設立目的 : 完成車メーカー様、販売店様およびサイクリング愛好家へのサービスとサポートの提供  
 役割 : 自転車部品販売

オーストラリアで釣れる魚



**イエローフィン プリム**  
 腹部のヒレが黄色いのが特徴で、体長65センチ、重さ約4キロに成長します。初心者から上級者まで楽しめる一番人気のある魚です。



**バラマンディ**  
 青みがかった銀白色をしており、体長は最大2メートルにも達します。猛烈なジャンプと引きの強さで釣り人を魅了している魚です。



**イエローフィン キングフィッシュ**  
 眼の脇を通るように入った黄色から黄土色のラインが特徴で、体長は160センチ、重さ60キロ以上にも達します。瞬発力と引きの強さはキングの名にふさわしく、釣り人に人気のある魚です。

愛されるブランドであるために

**SAFの取り組み**

オーストラリアでは、近年、スピニングリールを使った釣りが人気で、当社製品は高く評価されています。この販売にとどまらず、売れ筋のスピニングリールにマッチした竿やルアーを独自に開発し販売することで、釣具総合メーカーとしての競合優位を築きあげています。

また、SAFは、お取引先様との関係を強化・促進するため、リール製造の主力であるマレーシア工場の見学に小売店様を招待し、SAFの品質管理を含めた製造力を改めて認識いただく活動も実施しています。

さらに、スマートフォンに対応したデジタルマーケティングに着手し、デジタルカタログや写真編集機能付きソーシャルメディアなど、複数のアプリ開発を並行して進めており、順次市場に投入してまいります。



STRADIC C14+



SUSTAIN FG

**SAUSの取り組み**

世界的な健康志向を背景に、オーストラリアにおいても自転車レースやイベントのみでなく、日常生活の中で自転車を利用する人々が増えています。

そのような中、SAUSでは、オーストラリアにおける自転車文化のさらなる浸透とシマノブランドに対する認知度の向上を目的として、紙媒体やWEB上でのプロモーション活動のほか、アスリートや自転車イベントへの資金援助や支援を継続して行っています。

また、シマノ製品を身近に感じてもらうために、新製品の発表会や展示会を定期的に開催するなど、オーストラリア国内にて積極的な営業活動を行っています。



Rocky Trail (2013年シマノ MTB GPシリーズ) 最終戦開始の様子 (ストロムロ山/キャンベラ)

## CLARIS

初心者向けロードバイク  
フルコンポーネントCLARIS新登場



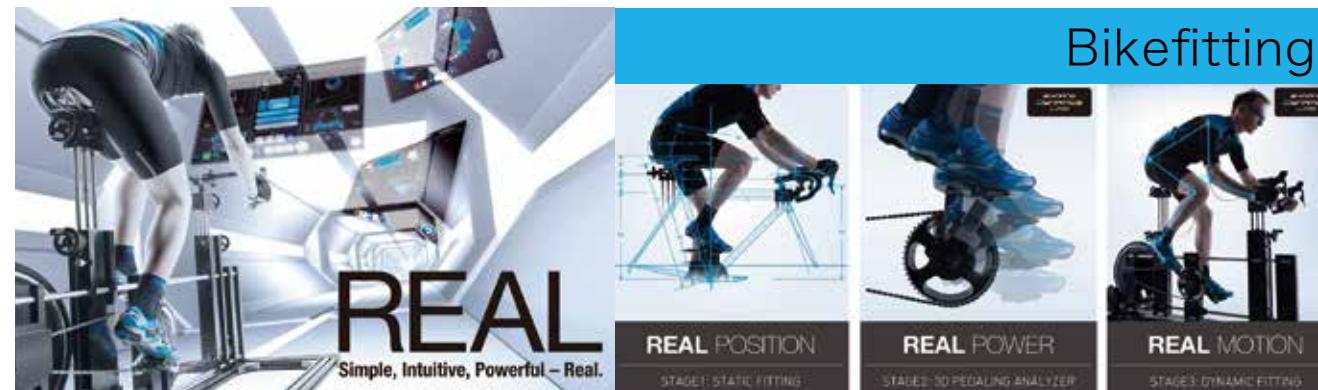
## 自転車に乗ることで、健康に

シマノにとって、自転車ワールドの裾野を広げることは大切なことです。そこで、ジョギングなど別の移動手段で出かけていた場所へ自転車で行くことにより、これまでとは違った喜びと爽快感を見つけてもらえる自転車部品を展開したいと考えました。こうした思いから、ハイクラスのロードバイクコンポーネントではないものの、初めてロードバイクを手にしたお客様も本格的なライダー気分が味わえるシステムコンポーネントをCLARISで実現しました。

CLARISは、お客様が選べるよう、レース志向が少し強めなド

ロップハンドルとフィットネス・ツーリング志向が強めなフラットハンドルの2型を展開し、それぞれに合ったブレーキを用意しました。また、お気に入りのサイクリングコースの起伏に合わせて、ギアを多彩なバリエーションから選択できるなど、お客様の好みの乗り方に合わせたカスタマイズを可能にしつつも、手頃な価格を実現しました。

また、製品プロモーションについては、これまではどうしても男性向けの趣向が強かったのですが、今回は女性の自転車ファン層を広げることを意識して展開しています。



## 【bikefitting.com】について

自転車のライダーの能力を最大限に引き出すためには、個々に合った最適なライディングポジションを導き出すことが重要です。このたびシマノは、「bikefitting.com」ブランドでその最適なライディングポジションを導き出し、身体に合った正しい自転車のセッティング※を行うことができる新しいシステムを展開します。

具体的には、自転車のポジションを自由に変更でき、ペダリングが体験できる「ポジションシミュレーター」と、ペダリング時のパワー分析が見られる「ペダリングアナライザー」を用意しました。さらに、ペダリング中の関節の動きを光学的に捉え、ポジションをファインチューニングできる「モーションアナライ

ザー」を開発中です。これらの製品の特長は、蓄積された数多くのデータに基づいて容易にユーザーのポジションを導き出し、またすぐに「ペダリングアナライザー」で、フィッティングの結果を表示させる点です。さらにデータベースに登録されている数多くの自転車ブランドの中から、15分以内にお勧めのフレームを探し出すことができます。

シマノとしては、販売店様にこのbikefitting.comをご活用いただき、お客様にフィッティングのアドバイスを提供できる点が販売店様の付加価値につながれば、と考えています。

※自転車のフレームの大きさ、サドルの高さ、ハンドルの高さなど。

## 2013年の取り組み

マウンテンバイクは、100年の歴史があるロードバイクに比べてその歴史が浅く、使用されるフィールドやその装着部品に求められる強度・剛性がロードバイクとは違った指標になります。その中でシマノは、より高いクラスへステップアップするためのミドルクラスへ特に力を注ぎ、マウンテンライディング向けの製品はもとより、ツーリング向けの製品も展開して着実に愛好家を増やしてきました。

## 2014年以降の取り組み

この2年間でロードバイクコンポーネントのハイクラスモデルであるDURA-ACEやULTEGRAが、一次元上のシステムコンポーネントに生まれ変わりました。次はミドルクラスの105シリーズもモデルチェンジ予定です。ULTEGRAの技術を引き継ぎつつも単なるセカンドラインではない“高いコストパフォーマンス”を念頭に、ライダーの期待に応える作り込みを行っています。



## NEW STELLA

4年ぶりのフルモデルチェンジ  
NEW STELLA間もなくデビュー

喜びが、満ちてくる。

# STELLA

### 製品紹介 NEW STELLA

2014年、前作から4年ぶりのフルモデルチェンジとなるNEW STELLAが誕生します。ステラを手にする全ての釣り人に至福の時を提供するという基本コンセプトのもと、“究極レベルに作り上げられたツール”として進化を遂げました。

NEW STELLAの革新は大きく3つに分けられます。1つ目が究極の巻き心地、2つ目が釣り人との一体感、そして3つ目が初期性能の保持です。

それぞれの革新には新しい特徴が搭載されていますが、中でも究極の巻き心地を実現しているのがマイクロモジュールギアです。これまで、ベイトリールに採用されていた機構ですが、スピニン

グリールには搭載が難しいとされていたこのマイクロモジュールギアを金属ボディという利点を活かしながら採用することに成功しました。また、Gフリーボディと呼ばれる内部構造の革新によって、重心を釣り人の手元へ近づけ、体感的な重さを軽減しています。さらに、コアプロテクトと名付けられた防水機構によって、全方位からの水の浸入を防ぎ、初期性能の保持にも大きく貢献しています。

官能のメカニズムを纏ったNEW STELLAのデビューはもう間もなくです。

## 釣り百景

### 【釣り百景】BS-TBSにて放送開始

シマノは提供する釣り番組を、放送されていなかった空白地帯をなくすため、昨年10月にテレビ東京系「釣りロマンを求めて」からBS-TBS「釣り百景」へ移行しました。衛星放送により全国一律の同時配信が可能となり、放送時間を木曜日22時からとすることで多くのお客様にご覧いただけるようになりました。また、番組では釣りの持つ魅力を表現しつつ、商品説明のコーナーを確保することで、視聴者のみなさまにより深く商品をご理解いただけるようにしました。インストラクターが実際のフィールドで商品の使い方などを説明しながら、ゲストとともに釣りの持つ「面白さ、楽しさ、奥深さ」をお伝えします。

初心者あるいは釣りをしない人も楽しめ、追求心の強い

ファンをもうならせる中身の濃い番組となっています。ぜひ、ご覧ください。



### 2014年の取り組み シマノブランドのフィッシングウェアを拡大

2014年は、シマノブランドによるフィッシングウェア類を大幅に拡大します。主力となるレインウェアはもちろん、キャップ・パンツ・フットウェア・アイウェアに至るまで、そのアイテム数は実に42にのぼります。老若男女やフィッシングシーンを選ばない高いデザイン性で、従来よりもさらにフィッシングウェアとしての機能を高め、より多くのお客様に喜んでいただける製品群となっています。

また、磯釣りではNEXUS（ネクサス）シリーズ、近年人気の高いルアーフィッシングにはXEFO（ゼフォー）シリーズとして、より専門的な機能を搭載したウェア類を展開し、新たな心躍る製品を提案していきます。

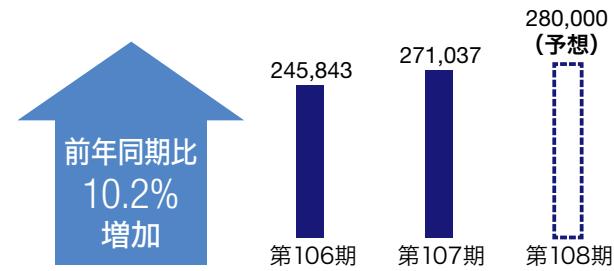


脇下縫製を無くすことで動きやすさを向上する新機能 UP SWING PATTERN

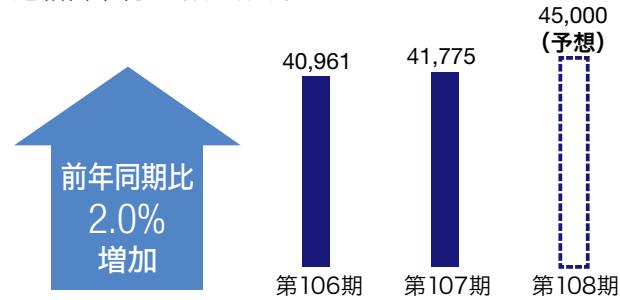


フローティングベストをはじめ、磯釣りに特化したNEXUSシリーズ

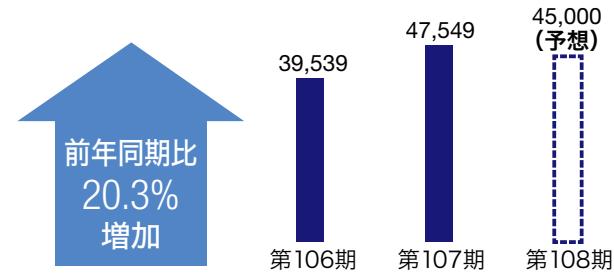
連結売上高 (単位: 百万円)



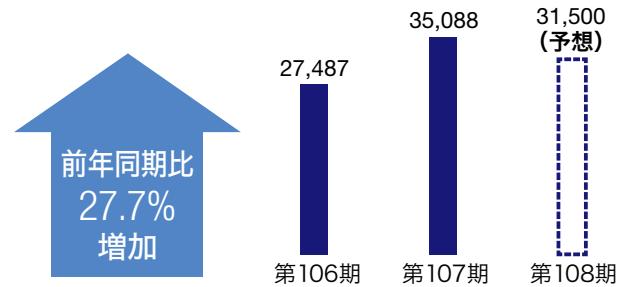
連結営業利益 (単位: 百万円)



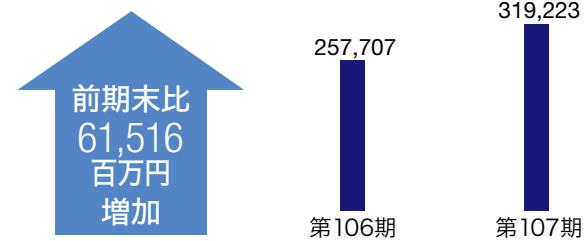
連結経常利益 (単位: 百万円)



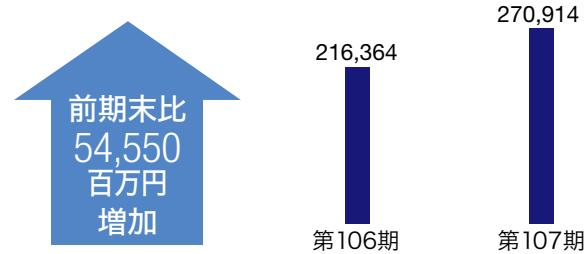
連結当期純利益 (単位: 百万円)



連結総資産 (単位: 百万円)



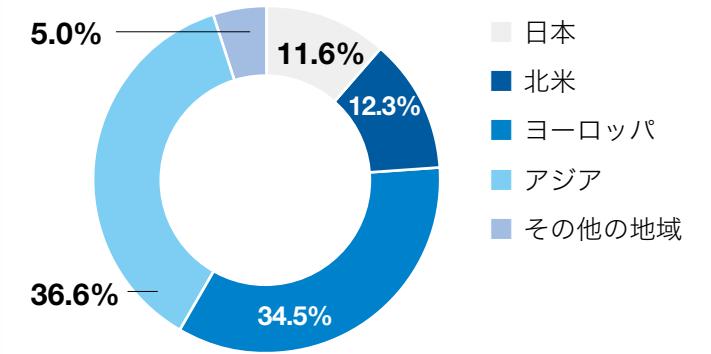
連結純資産 (単位: 百万円)



■ 地域別売上高の状況 (単位: 百万円)

	第106期	第107期
日本	29,569	<b>31,545</b>
北米	29,454	<b>33,223</b>
ヨーロッパ	84,643	<b>93,357</b>
アジア	88,991	<b>99,246</b>
その他の地域	13,184	<b>13,664</b>

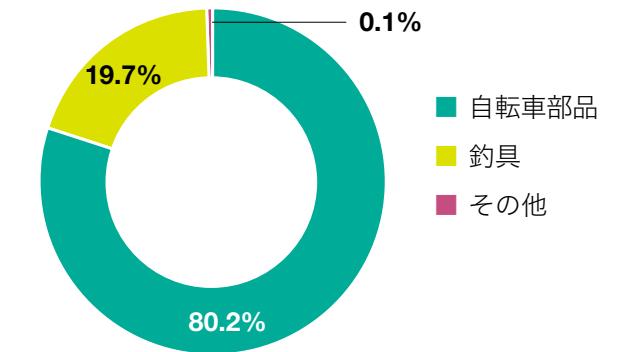
地域別売上高比率 (第107期)



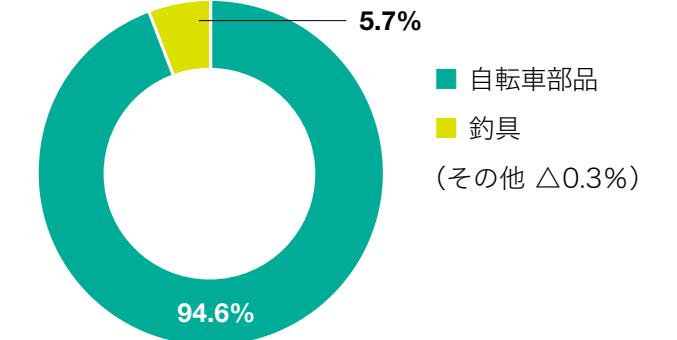
■ セグメント別の売上高と営業利益の状況

第107期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業利益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	<b>217,263</b>	9.6%	<b>39,505</b>	1.3%
釣具	<b>53,398</b>	13.1%	<b>2,404</b>	5.7%
その他	<b>376</b>	△10.3%	<b>△135</b>	—

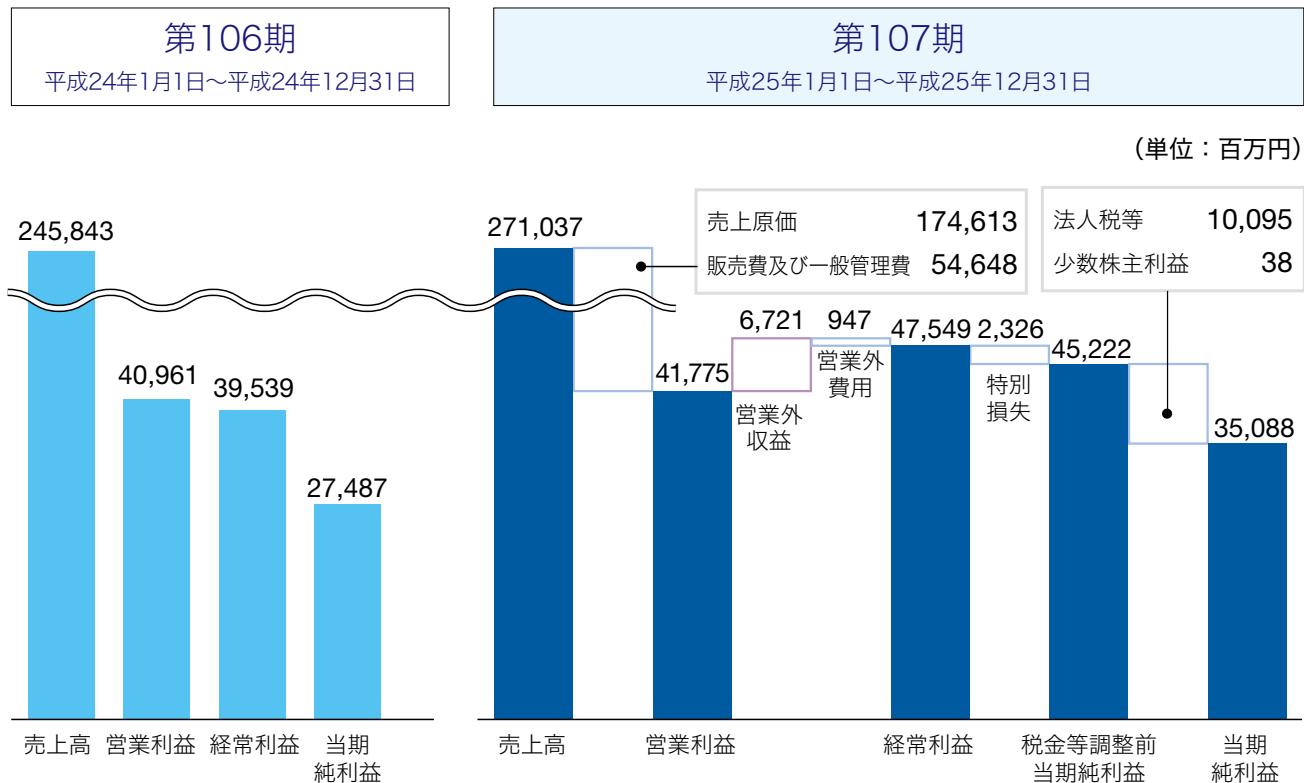
セグメント別の売上高比率 (第107期)



セグメント別の営業利益比率 (第107期)



■ 連結損益計算書（要約）



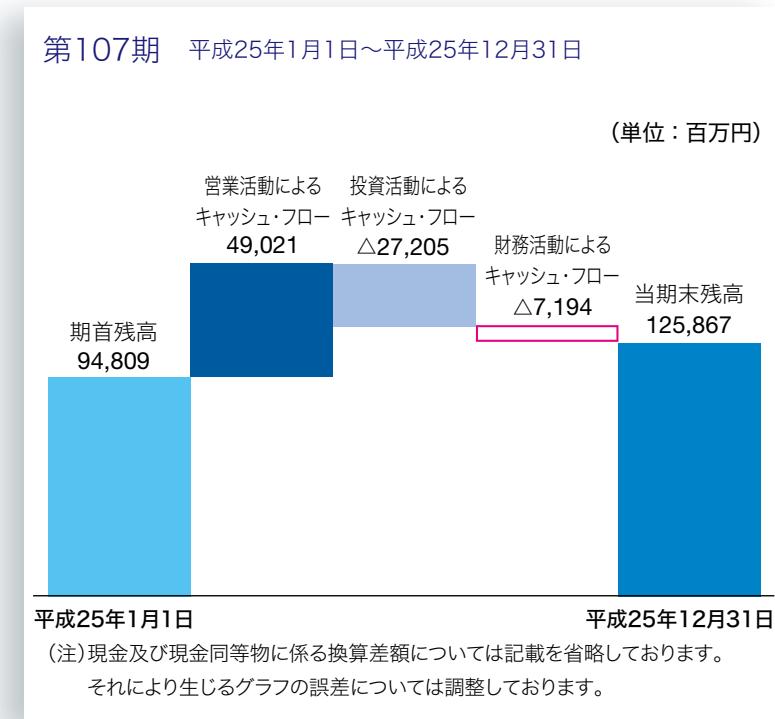
第108期予想（連結）

	業績予想		セグメント別売上高予想
売上高	2,800 億円 前年同期比 3.3%増	自転車部品	2,246 億円 前年同期比 3.4%増
経常利益	450 億円 前年同期比 5.4%減	釣具	550 億円 前年同期比 3.0%増
当期純利益	315 億円 前年同期比 10.2%減	その他	4 億円 前年同期比 6.4%増

■ 連結貸借対照表（要約）

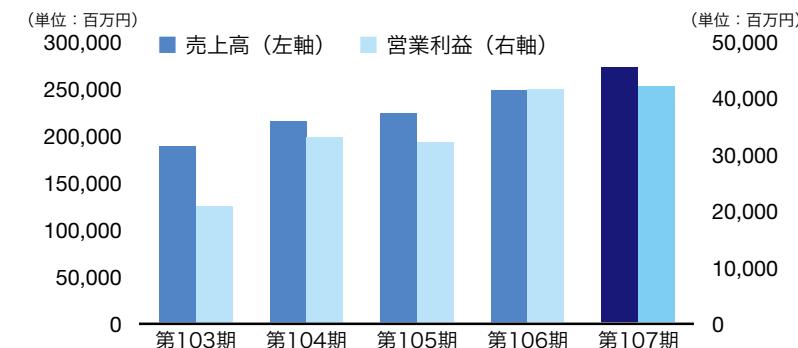


■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）



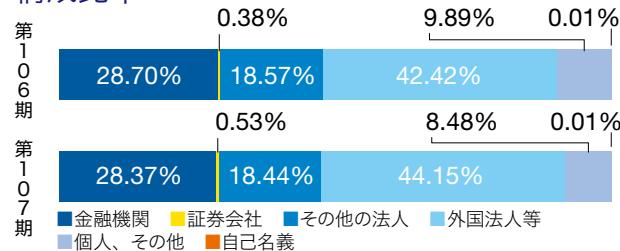
売上高と営業利益の推移

第107期における売上高・営業利益は、健康志向や環境保全志向の高まりといった追い風の中、自転車部品事業・釣具事業とも新製品の販売が好調であったことに加え、円安基調が続いたこともあり、前期を上回ることができました。



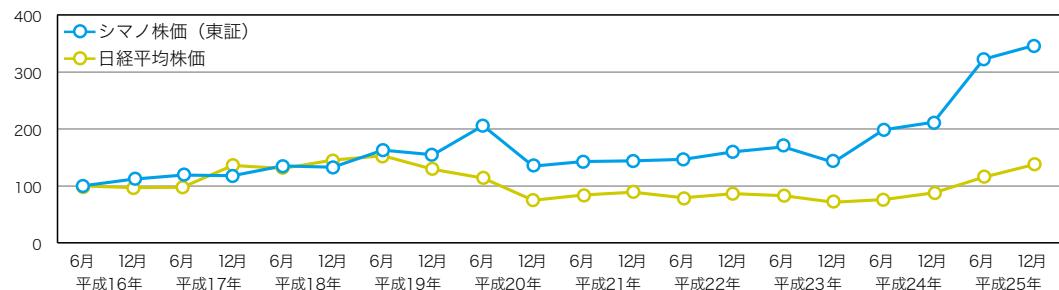
- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式総数 92,720,000株
- 株主数 6,198名
- 単元株式数 100株

構成比率

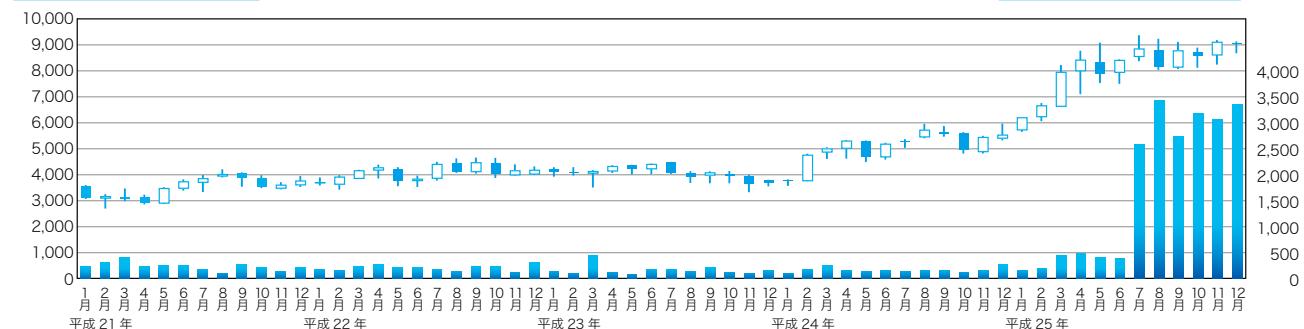


株価チャート

平成16年6月(終値)を100とする変化率



シマノ株価(東証) (円)



※平成25年7月16日に大阪証券取引所が東京証券取引所と合併したことに伴い、同年7月以降の売買高が増加しています。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,400	7.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	7,219	7.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,174	4.50
太陽工業株式会社	4,040	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,616	3.90
日本生命保険相互会社	2,360	2.55
株式会社スリーエス	2,171	2.34
CBNY-CHARLES SCHWAB FBO CUSTOMER	2,157	2.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	2,007	2.17

(注)持株比率は自己株式(14,538株)を控除して計算しております。

社名 株式会社シマノ  
 英文社名 SHIMANO INC.  
 創業年月 大正10年(1921年)2月  
 設立年月 昭和15年(1940年)1月  
 資本金 35,613百万円  
 従業員数 1,129名  
 事業内容 自転車部品、釣具、冷間鍛造品およびロウイング関連用品等の製造販売  
 本社 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地  
 URL www.shimano.com

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	津崎 祥博
代表取締役専務取締役	老 健	取締役	豊嶋 敬
代表取締役専務取締役	角谷 景司	取締役	人見 康弘
代表取締役専務取締役	角谷 景司	取締役	チアチンセン
常務取締役	渡会 悦義	取締役	松井 浩
常務取締役	和田 伸司	社外取締役	一條 和生
常務取締役	湯浅 哲	常勤監査役	谷野 俊典
取締役	平田 義弘	常勤監査役	島津 孝一
取締役	勝岡 秀夫	社外監査役	辻中 榮世
取締役	島野 泰三	社外監査役	松本 五平
取締役	樽谷 潔		

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月下旬に開催いたします。  
 基準日 期末配当金 毎年12月31日  
 中間配当金 毎年6月30日  
 単元株式数 100株  
 公告方法 電子公告  
 当社のホームページに掲載いたします。  
 (http://corporate.shimano.com/financial/)  
 ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 ☎ 0120-782-031  
 ホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html  
 証券コード 7309